

こいた 小板まきばの里通信 Vol 15

～コオロギの声を聞いてみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で秋の植物を探索しよう！

ネコハギ ヒヨドリバナ アキノゲシ ゴマナ キクアザミ ツククサ ゲンショウコ

ツルリンドウ ミヤマママコナ ミゾソバ オタカラコウ アケボノソウ ヤマハギ タムラソウ

■里山の自然観察 ～コオロギの声を聞いてみよう～

9月になると雲も風も空の色もすこしづつ秋らしくなってきます。静かなキャンプ場には夏の蝉たちの声に代わって、秋の訪れを告げるバッタたちの声が聞こえてきます。鳴き声がきれいなことで有名なバッタは「リーン、リーン」と鳴くスズムシですが、コオロギの声もなかなかのもの。「ヒリヒリヒリ、リーリーリー」と聞こえるのはエンマコオロギ、「リーリーリーリー」と一定のリズムで鳴くのはツツレサセコオロギ、「リツリツリツリツ、リツリツリツリツ」とかわいらしく鳴くのはミツカドコオロギです。見た目も全身黒で大きな丸い頭、あまり飛ぶのが得意そうでない太くて短めの足が特徴的なコオロギたち、そんなコオロギたちの声を聞いてみましょう。